

調布市子ども読書活動推進計画(素案)に対するパブリック・コメントの実施結果

【パブリック・コメント手続の実施概要】

1 意見募集の概要

- (1) 意見の募集期間 令和4年11月21日(月)～令和4年12月20日(火)
- (2) 周知方法 令和4年11月20日号市報及び市・図書館ホームページ
- (3) 資料の閲覧場所 公文書資料室, 神代出張所, 各図書館・各公民館・各地域福祉センター(染地除く), みんなの広場(たづくり11階), 市民活動支援センター(市民プラザあくるす2階), 教育会館1階
- (4) 意見の提出方法 氏名, 住所, 御意見を記入し, 直接又は郵送, FAX, Eメールで図書館まで提出
※資料の閲覧場所に設置する意見提出箱への提出も可

2 意見募集の結果概要

- (1) 意見提出件数: 6件(2人)

<提出意見の内訳>

全般に対する意見	6件
第1章「子どもの読書活動推進の理念と計画の概要」に対する意見	0件
第2章「子どもの読書活動の現状」に対する意見	0件
第3章「第4次調布市子ども読書活動推進計画の基本的な考え方」に対する意見	0件
第4章「家庭と地域での取組」に対する意見	0件
第5章「第3次計画策定後の学校・行政の取組・成果・課題」に対する意見	0件
第6章「第4次計画における学校・行政の取組・計画」に対する意見	0件
第7章「計画の推進体制」に対する意見	0件

- (2) 意見の概要と意見に対する市の考え方 別紙のとおり

【意見の概要と意見に対する市の考え方】

全般

項目	No	御意見の概要	市の考え方
全般	1	<p>「子ども食堂との連携」を検討いただけますでしょうか？ 第4次計画における学校・行政の取組・計画の2市立図書館(10)子ども関連施設等との連携の充実に、市内で開催されている子ども食堂との連携を追加するのはいかがでしょうか？</p> <p>子ども食堂は、家庭に諸事情を抱える子どもを中心に温かい食事で心身の元気づけを狙う活動ですが、食事だけではあっという間なので、食後の触れ合いなど、各食堂で工夫を凝らしています。しかしこれは、なかなか大変なようです。</p> <p>そこで、図書に団体貸し出しや、おはなし会、図書館紹介、リサイクル資料の提供など、図書館活動を紹介・実践する場として、協力した活動ができるのではないかと思います。 (子ども食堂の関係者の方に確認したわけではないので、何が合うのか正確にはわかりません。)</p> <p>また、図書館側から見ると、学校や既存連携先ではリーチできない子どもたちへ図書館を紹介でき、特に諸事情を抱える子どもたちへ、目標4の『読書で「生きる力」を育む』ことに繋がる活動となると思います。</p>	<p>図書館では、計画に記載のとおり、引き続きさまざまな子ども関連施設との連携強化・充実に努めていきたいと考えています。なお新たな施設等との連携開始に当たっては、多様な施設の運営形態やニーズなどを丁寧に確認しながら、対応の方策など検討を進めていきます。</p>
全般	2	<p>パブリック・コメントの意見の概要を作成するにあたって、提出者の意見の趣旨を曲げられることがあるので、無断で要約、分割等をしないこと。要約等をする必要がある場合は、必ず意見提出者の了解を得ること。なお、要約等が不要になるように簡潔に記載したつもりである。</p>	<p>調布市パブリック・コメント手続条例に基づき、パブリック・コメント手続の実施結果の公表に当たっては、提出意見を内容ごとに分類するなど、分かりやすい形での公表に努めることとしています。多数の意見を分類しつつ、御意見を踏まえ、できるだけ原文を掲載しております。</p> <p>なお、提出された意見が長文の場合や意見数が多い場合、類似の意見が何件もある場合においては、意見の概要や、同じ趣旨の意見をまとめた形で公表することがあります。</p>
全般	3	<p>● 同じ締切日(12月20日)でいくつも意見募集をしないこと。年末の忙しい時に同時に読んで調査して意見を作成することはきつい。1月4日の締切りならまだ許容できる。 次回から考慮されたい。</p>	<p>本プランは調布市における各種計画と整合を図りながら読書活動を推進する観点から、計画期間については、他の計画とあわせ策定しています。 頂いた御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
全般	4	<p>● 多くの活動内容が記載されていること自体は悪くはないが、「推進していきます」、「見直します」「工夫が必要です」「努めます」「企画します」などのオンパレードで、総花的であり、どこまで実行できる・するのか、そのために必要なリソースはどの程度か、確保できているのかが見えない計画である。</p> <p>● 各年度において、各々の活動をどの程度やるかという、年間の実行計画(内容、人、費用など)を設定すべきであるが、見えない。</p>	<p>御意見を踏まえて、本計画を指針として各部署が年次的な事業計画を作成し、市立図書館が取組状況を確認・点検し、計画の進捗状況の管理を行い改善に努めて参ります。</p>

案	No	御意見等の概要	市の考え方
全般	5	<p>●目標管理について（1） 第3次計画の令和3年度までの取組み評価の結果と成果、課題について、評価A：目標以上に推進、B:目標通りに実施、C:目標に到達せず、D:未実施、において、各項目がすべてB評価であることは、目標の設定や評価の仕方に問題があり、大いに疑わしい。PDCA サイクルが機能しない。やる意味がない。見直すべきである。 具体的に指摘すると、実態に目標を合わせてないか？ まず、疑念にこたえるために、目標や評価の仕方や内容を明らかにすべきである。</p> <p>●目標管理について（2） 何か事業計画を予定通りこなしたということは評価可能だが、その結果、「子供の健やかな成長」にどの程度貢献したかをどのように評価するか（子どもの目の輝きなど）は別問題であり、客観的定量的評価は不可能に近いだろうし、また、それと「読書活動推進施策」のそれぞれとの費用対効果の相関関係を測ることも難しいことである。 試行錯誤を伴うが、PDCA サイクルで、年ごとに改善していく必要がある。</p>	御意見にあるとおり、「子ども読書活動推進計画」に基づく取組が、「子供の健やかな成長」にどの程度貢献したかを定量的に評価することは難しいと考えているため、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動ができるための事業計画を立て、その取組結果について評価しています。目標管理への御意見については、今後の取組を検討する際に参考とさせていただきます。
全般	6	<p>● 広く世の中の優れた活動に学び、取り入れていくこと、また、逆に活動成果を世の中に周知していくことが、計画に含まれてなければ、含めること。 具体例は、以下の新聞記事。 （参考情報）「中学生が思わず前のめりに すぐ腕の司書が教壇で披露するエピソード」 朝日新聞デジタル 2022年12月19日7時00分 https://digital.asahi.com/articles/ASQDD7310QD2ULOB01J.html</p>	頂いた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。

※御意見は、原則、いただいた原文を基に掲載しています。